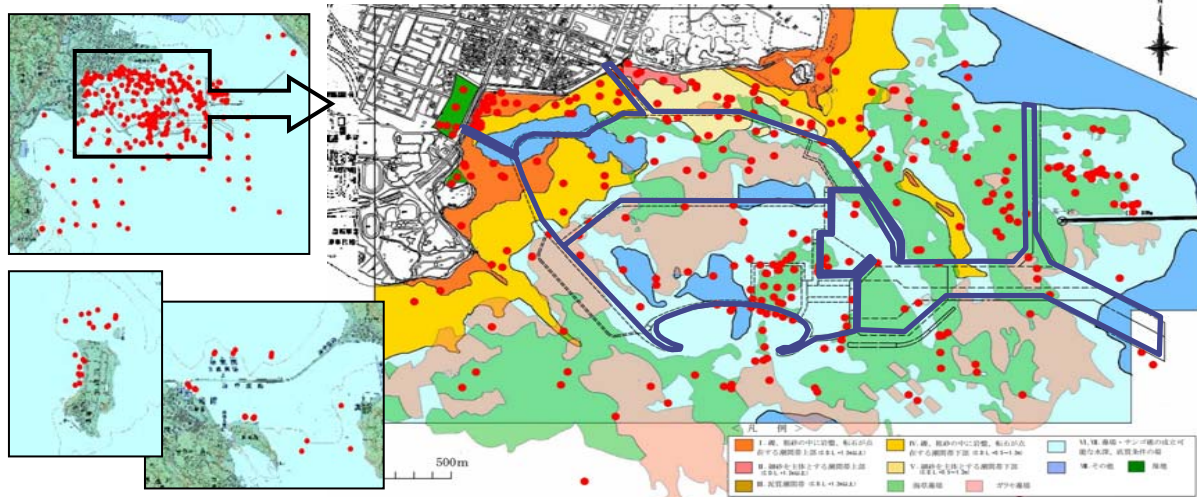


新たな希少動物種の保全が可能と判断する理由

- ほとんどの種が、埋立予定地の中だけでなく、埋立予定地以外にも広く生息が確認されています。(これまで埋立予定地内のみで生息確認されている種は、県知事に報告した貝類99種のうち5種*です。しかし、その種が生息すると考えられる環境は埋立予定地外にも広く分布しています。ちなみに、これら5種の 카테고리は、改訂「レッドデータおきなわ」の 카테고리区分で、ただちに絶滅の危機に瀕しているという区分ではありません。)

これまでに実施した生物生息・生育監視調査の実施箇所



* 埋立予定地内のみで生息が確認されている貝類5種

種名	カテゴリー
ヒメオライレムシロ	絶滅危惧Ⅱ類
ツヤイモ	準絶滅危惧
ウミギク	準絶滅危惧
ウネイチョウシラトリ	情報不足
オウギカノコアサリ	情報不足